



# 石のうた

帆田春樹

石は  
天上の炎に燃える  
地上の霧に濡れる

露をふくみ苔より青く  
闇に沈んだ月より白い  
流れに素朴の影をうつす  
青葉に笥の滴りを聴く

星の光り  
鱗のきらめき  
雲のゆきき  
雪花

石は黙って眺めている  
石はいずこにもうずくまる  
奔放に自在に  
自然に閑寂に  
親しみぶかくてきびしく  
独りいて豊かに

石は芳香をもつ  
石は歳月  
石は愛  
石は美しい



## 「石のうた」

帆田 春樹 作

建立 昭和四十一年五月  
贈 高井 英吾

帆田春樹(ほだ・はるき=本名・本田十蔵) 小田原市出身の小説家・詩人  
明治42年(1909)11月22日~平成11年(1999)年8月7日  
昭和17年に『のすみれ』を発表し、以後、『明け暮れ』、『泥ほごり』  
『飯食について』、『木の着物』、『処女航路』、『白萩の抄』などを発表  
したほか、詩や童話の作品もある。早稲田大学中退。  
(出典=日外アソシエーツ「20世紀日本人名事典」2004刊)

詩碑設置場所 小田原市立城南中学校 前庭 2018年6月4日撮影

